

## 令和5年度 事業実施報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが5類へと変わり、年度末には株価が史上最高値を34年ぶりに更新するなど先行きに対する期待感が高まりましたが、物価の高騰が続き県内の倒産件数が倍増するなど、実態は依然として厳しい状況が続きました。

労働分野においては、2月の県内の有効求人倍率が1.39倍となるなど、全国平均を上回ってほぼ横ばいで推移しています。

さらに高崎労働基準監督署管内で昨年1年間に発生した労働災害は、休業4日以上労働災害が523件発生して前年より1件増加し、一昨年は0であった死亡災害については、5件発生しています（いずれも新型コロナウイルスによる労働災害分を除く）。

このような状況のもと、当協会においては理事会、通常総会をはじめ高崎地区産業安全衛生大会等の各行事について計画どおり開催してまいりました。

また、講習事業についても、衛生関係の講習が増えたことなどにより令和5年度の各種講習会は、全体の開催回数61回、受講者数合計2,431名、受講料とテキスト代を含めた講習関連収入は33,011千円となりました。

令和5年度の主な事業活動の経過は、次のとおりです。

### 1 会議関係

- ・ 通常総会 (5月26日開催)
- ・ 理事会 (4月27日、12月13日、3月27日開催)
- ・ 総務部会議 (5月24日、9月15日、11月21日、3月7日開催)
- ・ 安全部会議 (6月6日開催)
- ・ 衛生部会議 (9月6日開催)
- ・ 分会長(支部長)会議 (6月6日、9月6日開催)

### 2 行事・講習会等

- ・ 優良事業場等表彰 11件
- ・ 講習会 (61回開催・受講修了者2,431名)
- ・ 各種説明会 (全国安全週間説明会6月9日、全国労働衛生週間説明会9月11日)
- ・ 高崎地区安全衛生大会・特別講演会 (10月6日開催)
- ・ 新春特別講演会・懇談会 (2月6日開催)